日本赤十字社 佐賀県支部
Japanese Red Cross Society

赤十字さが

2016 Summer 夏号 Vol.71

年4回発行（1,4,7,10月）

さがの人たちにもっと伝えたい、
佐賀の赤十字。

平成28年熊本地震発生！

佐賀県支部
最大震度7 熊本地震に対する懸命な救護活動！

唐津赤十字病院
開院まであと少し！新病院紹介

佐賀県赤十字血液センター
若い方々の協力が必要です！これからの献血を支えるために

佐賀県の赤十字活動を情報発信しています！
公式フェイスブック・ホームページをご覧ください。
日赤　佐賀　検索

http://www.facebook.com/jrcsaga

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

平成28年 熊本地震災害

直ちに医療救護班を派遣！ 懸命の救護活動を展開しました！

4月14日21時26分、同16日1時25分。
最大震度7の大地震が、2度にわたり熊本地方を襲いました。
この地震の影響で、熊本市内を始め、益城町、西原村、南阿蘇村を中心として、死傷者や家屋倒壊など甚大な被害が出ました。
日本赤十字社佐賀県支部では、発災直後から情報収集を開始。
直ちに医療救護班の派遣を決定し、15日未明、『佐賀県支部第1救護班（8名）』と『唐津赤十字病院DMAT隊（5名）』が熊本に向け出動しました。

■ 発災直後 情報収集を行う職員
（14日22時13分：日赤佐賀県支部）

■ 隊員集結 出動するDMAT隊
（15日2時59分：長崎自動車道金立SA）

熊本県益城町内の被災状況

■ 地震の影響で倒壊した家屋

■ 避難所で身を寄せ合う被災者

日本赤十字社佐賀県支部の対応

■人員派遣

派遣形態	派遣チーム数（人数：内訳）	活動場所
医療救護班	5班（36人：医師7人、看護師15人、コメディカル7人、事務系職員7人）	熊本市、益城町、南阿蘇村 等
DMAT隊	2班（9人：医師2人、看護師3人、コメディカル2人、事務系職員2人）	熊本市、益城町 等
災対本部調整員	5人（事務系職員5人）	日本赤十字社熊本県支部
病院支援要員	5人（医師1人、看護師3人、事務系職員1人）	熊本赤十字病院
赤十字防災ボランティア	3人（救急法奉仕団1人、水上安全奉仕団1人、青年奉仕団1人）	熊本市、益城町 等
※日本赤十字社全体では、約1,700人の派遣要員が被災者救援にあたりました。		

■ 巡回診療を行う第1医療救護班
（15日7時32分：熊本市立花園小学校避難所）

■ 活動計画を練る第1医療救護班
（15日11時09分：益城町役場）

■ 本震直後 停電の中、医療救護を行うDMAT隊
（16日2時13分：熊本赤十字病院）

■ 第2医療救護班 出発式の様子
（16日10時30分：日赤佐賀県支部）

■ 熊本県支部災害対策本部 全体会議の様子
（17日19時02分：日赤熊本県支部）

■ 熊本へ向け出発する赤十字防災ボランティア
（21日9時45分：日赤佐賀県支部）

救援物資送達

内　容	送達数	送達先
毛布	580枚	日本赤十字社 熊本県支部
安眠セット	50セット	日本赤十字社 熊本県支部

※ 安眠セット … マット、枕、アイマスク、耳栓、スリッパなど

毛布

安眠セット

■ 救援物資を運び込む職員
（16日14時36分：日赤熊本県支部）

義援金募集

受　付　額		
日本赤十字社 受付（全国）	189億6,800万4,958円	6月21日現在
日本赤十字社佐賀県支部 受付	1億591万9,402円	6月27日現在

※お寄せいただいた義援金は、手数料などをいただくことなく、全額を被災県に設置された「義援金配分委員会」を通じて、被災された方々へお届けします。

平成28年熊本地震災害義援金の流れ

被害にあわれた皆さまには
心からお見舞い申し上げますとともに、
一刻も早い復興をお祈りいたします。

4月 3(日)　日赤救護班は今年も「さが桜マラソン」に出動！

■新型ドクターカーが大会をサポートしました

ランナーの皆さんのもしもに備え、ドクターカーは最後尾から、ボランティアはAEDを持って沿道からランナーを見守りました。

5月 22(日)AM　「防災DAY」青少年赤十字（JRC）高校生がイベントを実施！（午前）

■県内のJRC高校生77名が参加しました

“防災”をテーマに、県内のJRC高校生メンバーが企画・運営を行うイベント『防災DAY』が、日赤佐賀県支部で開催されました。特に、4月に熊本地震が起きたことで、“災害”や“防災”に対する関心が高まったことから、当日は県内14校から77名の高校生が集まりました。災害を知り、そして自分にできる防災を考えることが目的。災害を想定したケーススタディでは、自分の命を守るための行動について、高校生同士が熱心に意見交換を行いました。

5月 22(日)PM　「防災DAY」青少年赤十字（JRC）赤十字奉仕団と初のコラボ！（午後）

■赤十字奉仕団17名が災害食作りを支援しました

地域赤十字奉仕団員と青年赤十字奉仕団員が、炊き出し（災害食作り）でイベントに参加。JRC高校生メンバーと交流をする中で、同じ赤十字ボランティアとして、実災害時に協力することを確認しました。

5月 27(金)　「ちえんかん保育園」義援金を贈呈！

■園児たちが熊本地震の募金を行いました

佐賀市内にある、ちえんかん保育園（JRC加盟園）の園児から、熊本地震災害義援金のご協力をいただきました。日赤佐賀県支部職員が同園を訪れると、「ぼきんします！くまもとの人のために、役立ててください！」と園児は話していました。

6月 9(木)　平成28年度 第1回評議員会を開催

■平成27年度事業報告と収支決算が承認されました

評議員会は当支部の最高議決機関です。年2回開催され市長9名、町長5名、支部長推薦4名、他2名から構成されています。

新病院紹介～新病院までの歩み～

唐津赤十字病院の前身、唐津市立病院。

昭和32年、唐津市立病院から唐津赤十字病院へと移管される。

昭和45年頃の唐津赤十字病院、昭和54年から改築が始まる。

昭和56年、改築後の唐津赤十字病院。

平成3年、現在の管理棟が完成。

平成15年、南病棟が完成。

正面玄関側からの外観

ホスピタルガレリア

スタッフステーション

外来受付

手術室

“平成28年8月1日 新病院がオープン！

住　　所：〒847-8588 唐津市和多田2430
電話番号：0955-72-5111（現在と同じ）
敷地面積：約29,700㎡
構　　造：鉄筋コンクリート造7階建（免震構造）
病 床 数：304床（一般300床、感染症4床）
診 療 科：28科

4月 「平成28年熊本地震」に職員を派遣

April

4月14日に起こった「平成28年熊本地震」に対して、当院は地震発生の4時間後に救護第1班を派遣するなど、救護班を5班、DMATを2班、医師を1名、放射線技師を1名、事務職員を1名派遣いたしました。

4月28(木) 開院まであと少し！

■新病院引き渡し式

4月28日（木）、新病院にて建物の引き渡し式が行われ、当院からは院長をはじめ幹部職員が参加しました。

各種の書類の他に新病院の全ての鍵を渡され、その多さに驚愕しました。志田原院長は引き渡し後のあいさつの中で「関係者の皆さんの協力で、この立派な建物が完成した。これからは8月1日の開院に向けて、我々がこの建物に命を吹き込むことになる。引き続き、北部医療圏の最後のとりでとして、その役割を果たしていきたい。」と謝辞と決意を述べました。

6月1(水) 病院の経営状況を報告

June

■運営協議会

平成28年6月1日（水）、唐津シーサイドホテルにて運営協議会を開催しました。これは、唐津赤十字病院の運営に関する重要事項について委員と幹事の方々に審議していただき、経営の健全化と医療水準の向上を図り、県西北部の地域医療の発展に寄与するため行っているものです。

今回は、平成27年度業務報告（案）や平成27年度医療施設特別会計決算（案）、新病院建設について報告を行いました。

6月2(木) 花言葉は「しあわせ」です

■すずらん贈呈式

平成28年6月2日（木）、全日空より「すずらん」の鉢植えとしおりの贈呈が行われました。

これはすずらんの花言葉である「しあわせ」が永く続くという願いをこめて行われ、当院では昭和34年に始まり、今年で58回目となりました。客室乗務員2名が各病棟を回り、患者さんにすずらんのしおりを手渡されました。患者様からは、「昔行った北海道を思い出した。もう一度行けるように頑張らんばね。」という声を聞くことができました。

すずらんの鉢植えは病棟内に飾ってあります。

会場は例年以上の盛り上がりが予想されます

献血ふれあいフェスタ～献血功労者表彰式～

7月は「愛の血液助けあい運動」月間です。県民の皆さまに献血への理解と協力を深めるとともに、成分献血及び400mL献血の普及・啓発を目的とした「2016献血ふれあいフェスタ」を佐賀県と合同で開催します。

献血功労者表彰式に続いて、福岡よしもと「スリーナイン」によるお笑いライブ、アイドルグループ「LinQ」ステージ他、移動献血バスによる400mL献血を実施します。

日　時	2016年7月24日（日）
会　場	ゆめタウン佐賀 1Fセントラルコート
表彰式	11:00～12:00
イベント	13:00～16:00
献血受付	10:00～16:30

※昨年度の写真です

これからの献血を支えるためにも若い人たちの協力が必要です

10代・20代の皆さまの献血をお待ちしています

佐賀は九州で10代・20代の献血率が九州で一番低い県です。献血プラザさがはアットホームな雰囲気で、初めての方でも職員が丁寧に説明しますので安心してお越しください。

九州各県の10代（16～19歳）の人口に対する献血者の割合

九州各県の20代（20～29歳）の人口に対する献血者の割合

4月 5月　April - May

第113回有田陶器市献血

■期間中の累計来場者数120万人でした

ご当地グルメフェア会場（有田町東出張所）において、肥前有田ライオンズクラブ、陶都有田青年会議所、有田町のご支援のもと献血を実施しました。今年は有田焼創業400年ということで人出も多く、318名の方に献血のご協力をいただきました。

皆さまの温かいご支援、誠にありがとうございました。

6月14(火)　June

献血者の皆さまに感謝、6月14日は世界献血者デー

■～Blood connects us all（私たちをつなぐ愛の血液）～

「世界献血者デー」は2005年に、輸血用血液（赤血球・血漿・血小板）の世界的な需要が高まる中、WHO（世界保健機構）が制定したものです。

献血者の皆さまに感謝するとともに、献血者の確保にご協力をいただいているボランティアの方々に敬意を表し、その活動を広く認識していただく日となっています。

6月14日はABO式血液型を発見し、ノーベル賞を受賞したカール・ランントシュタイナーの誕生日でもあります。

供給課

私たちは、血液（製剤）を医療機関へ365日24時間体制で供給する仕事をしています。患者さまのため、責任を持って皆さまの愛を届けております。

採血課

なるべく痛くないようにと思いながら採血を行っています。献血者の方に「また来たい」と言っていただけるような場を作るよう心掛けています。

2015 1月～2015 12月

献血の思いやり。患者さんに届けます。

■佐賀大学医学部附属病院の診療科別の輸血使用人数です

下のグラフは赤血球製剤の輸血使用人数を示しており、2015年1月～12月で計1,377名の方が赤血球製剤の輸血を受けられました。約3,459名の献血者の方の血液を使用いたしました。皆さまのあたたかい気持ちをありがとうございます。

毎日、輸血を必要とする患者さまがおられますので、引き続き献血へのご協力をお願いします。

- 血液・腫瘍内科
- 救急部
- 心臓血管外科
- 消化器・一般外科
- 麻酔科
- 産婦人科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 循環器内科
- 小児科
- 腎臓内科
- 消化内科
- 肝糖・糖尿病
- 泌尿器
- その他診療科

“災害”からいのちを守る！

『赤十字防災講習』

防災講習に
使用する教材

日本という国は、自然豊かな美しい国ですが、地震や津波、台風、大雨、竜巻、火山噴火など、多くの自然災害が起きる、とても厳しい環境におかれています。

特に、阪神・淡路大震災（平成7年）や東日本大震災（平成23年）、そして、今年起きた熊本地震などの大災害では、多くの死傷者が出ました。

日本赤十字社では災害発生直後から、人の命を救うため迅速な救護活動を展開しますが、発災後の対応には、おのずと限界があります。

そこで日本赤十字社では、いつ起こるか分からない“災害”に備え、大切ないのちを守るための知識と技術を学ぶことができる『赤十字防災講習』を実施しています。

①災害の実態を学ぶ

②日赤の救護を知る

③救急法を学ぶ

④災害食を作る

地域や学校、大人から子どもまで、ご要望に合わせた講習内容をお届けします。
“災害”に備えるため、“防災・減災”のために何をしたら良いかお悩みの方は、ぜひ、お問い合わせください。

佐賀県支部評議員会において、平成27年度決算報告が承認されました。

佐賀県支部 一般会計決算

日本赤十字社

佐賀県支部　〒840-0843　佐賀市川原町2番45号　TEL.0952-25-3108

唐津赤十字病院　〒847-8588　唐津市二タ子1丁目5-1　TEL.0955-72-5111

佐賀県赤十字血液センター　〒849-0925　佐賀市八丁畷町10-20　TEL.0952-32-1011

唐津赤十字病院

平成27年度医療施設特別会計決算（千円）	
収　入	7,722,438
支　出	7,504,453
差　引	217,985

表紙の人◉唐津赤十字病院のIさん

広報誌「赤十字さが」vol.71 平成28年7月1日発行　編集・発行◉日本赤十字社 佐賀県支部